

製品ライセンス認証について

よく寄せられるご質問

キー管理サービス (KMS) を使用して Windows 10 コンピューターのライセンス認証を行うには、どうすればよいですか。

最初に、Windows 10 コンピューターに対応させるために KMS ホストを更新してください。詳細については、[Windows 10 Volume Activation Tips](#) (英語) を参照してください

製品のライセンス認証とは何ですか。

製品のライセンス認証とは、ソフトウェアが正規品であり、プロダクト キーが悪用されていないことを確認するために行うプロセスです。ライセンス認証により、ソフトウェアのプロダクト キーと、デバイス上の該当するソフトウェア インストールとが関連付けます。

ライセンス認証テクノロジーとツールは、ソフトウェアの購入チャンネルによって異なります。小売り、ボリューム ライセンスおよび OEM があり、通常はパッケージのプロダクト キーの入力、ネットワーク サーバーへの接続、またはサービス センターへの問い合わせなど、何らかの対話的な手順が必要です。

セットアップ キーとは何ですか。

セットアップ キーは、各製品とバージョンの組み合わせで製品の "ロック解除" を行い、ライセンス認証を省略するために使用されます。

セットアップ キーを入手するには、次の方法があります。

- **メディア フルフィルメント:** メディア フルフィルメントによって入手される製品の場合、セットアップ キーはメディアのスリーブ上に印刷されています。
- **ダウンロード フルフィルメント:** ダウンロードによって入手される製品の場合、セットアップ キーはダウンロードで提供されます
- **マイクロソフト ボリューム ライセンス サービス センター (VLSC) Web サイトからのダウンロードが可能な製品の場合、**セットアップ キーと次のメッセージがダウンロード画面に表示されます。「ダウンロード可能な製品の中には、セットアップ キーを必要とするものがあります。製品のインストール時に必要となりますので、書き留めておいてください。」
- [マイクロソフト ライセンス認証専用窓口](#)にお電話をいただくと、必要なセットアップ キーを入手できます。ライセンス認証専用窓口では、お客様のボリューム ライセンス契約に関する情報や購入証明についての確認を行います。

製品ライセンス認証についてよく寄せられるご質問

契約と関連付けられているプロダクト キーがどれなのか、マイクロソフトはどのように判断しているのですか。

マイクロソフト ボリューム ライセンス サービス センター (VLSC) でお客様の契約一覧に表示される各ライセンス ID には、ボリューム ライセンス プロダクト キーが提供されています。お客様によってはライセンス ID が複数になる場合があります。

- Enterprise Agreement (EA) をご利用のお客様には、製品群 (システム、サーバー、アプリケーション) ごとにボリューム ライセンス キーが提供されます
- Select Agreement をご利用のお客様は、製品群 (システム、サーバー、アプリケーション) ごとにキーが提供されます。
- Select Plus Agreement をご利用のお客様には製品群 (システム、サーバー、アプリケーション) ごとにボリューム ライセンス キーが提供されます。
- Open License および Open Value をご利用のお客様は、お客様のライセンス購入に基づいたアプリケーション キーが提供されます

注: [キーを使用して、再イメージングやダウングレードを行なう権利](#)がすべてのお客様に付与されています。さらに、EA、Select、Select Plus をご利用のお客様には、製品を評価する権利、およびトレーニングやバックアップを目的としたソフトウェアの制限付きコピーが提供されます

詳細は、TechNet 記事の [Windows の適切なボリューム ライセンス キーを選択する方法](#) (英語) を参照してください。

ボリューム アクティベーションとは何ですか。

[ボリューム アクティベーション](#)は、Windows Vista および Windows Server 2008 に初めて導入された製品のライセンス認証テクノロジーです。ボリューム ライセンスをご利用のお客様が、透過的な方法でライセンス認証プロセスを自動化できるように設計されています。

ボリューム アクティベーションは、ボリューム ライセンス プログラムの対象となるシステムのみに適用され、ライセンス認証のツールとして厳密に使用されます。ライセンスの請求に関連はありません。

ボリューム アクティベーションには、ボリューム認証を行うための、複数の認証方式が用意されています。

- **キー管理サービス (KMS)** – KMS を使用すると、組織の専用ネットワーク内のシステムのライセンス認証が行えるようになります。
- **マルチ ライセンス認証キー (MAK)** – MAK では、マイクロソフトがホストするアクティベーション サービスを使用して、1 回だけのシステムのライセンス認証を行います。
- **Windows 8、Windows Server 2012 および Office 2013 より開始される認証方式**
 - Active Directory によるライセンス認証。
 - Active Directory によるライセンス認証を利用すると、組織ドメインに接続されているすべての Windows 8、Windows 2012 および Office 2013 を搭載したコンピューターでは、コンピューターのセットアップ中に自動的かつ透過的にライセンス認証が行われます。これらのクライアントは、ドメインのメンバーである限りライセンス認証を維持し、ドメイン コントローラーと定期的に通信を行います。

製品ライセンス認証についてよく寄せられるご質問

重要: インストールの一部として、ボリューム アクティベーションを適用する製品の展開を計画および管理することが重要となります。

詳細は、[Active Directory によるライセンス認証](#)のページでご確認ください。

キー管理サービス (KMS) とは何ですか。

キー管理サービス (KMS) は、組織が独自ネットワーク内のシステム認証を行うことができる認証サービスで、製品のライセンス認証にあたって個々のコンピューターがマイクロソフトに接続する必要がありません。専用システムを必要とせず、別のサービスを提供しているシステム上で簡単に共同ホスティングできます。

KMS では、ネットワーク環境内の物理または仮想コンピューターの必要最低限の台数が定められています。ライセンス認証のしきい値と呼ばれる必要最低限のこの台数は、エンタープライズのお客様が簡単に満たせるように設定されています。

- **Windows のライセンス認証しきい値** – Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2 または、Windows Server 2012 が稼働するサーバーのライセンス認証には最低 5 台のコンピューターが必要となり、Windows Vista、Windows 7 または Windows 8 が稼働するクライアント システムのライセンス認証には最低 25 台のコンピューターが必要となります。
- **Office のライセンス認証しきい値** – KMS を利用してインストールされた Office 製品のライセンス認証を行うには、Office 2013、Project 2013、Visio 2013、Office 2010、Project 2010 または Visio 2010 の稼働するコンピューターが最低 5 台必要となります。Office 製品のボリューム アクティベーションのより詳細な情報は、[Office 2010 のボリューム ライセンス認証のクイック スタート ガイド](#)および [Office 2010 のボリューム ライセンス認証の概要](#)を参照してください。

ライセンス認証しきい値の詳細は、[ボリューム アクティベーション計画ガイド](#) (英語) をご確認ください。

マルチ ライセンス認証キー (MAK) とは何ですか。機能について教えてください。

マルチ ライセンス認証キー (MAK) は、マイクロソフトがホストするライセンス認証サーバーでの、コンピューターの一度限りのライセンス認証に使われます。ライセンス認証がいったん完了すると、さらなる認証は不要となります。MAK によるライセンス認証には、次の 2 とおりの方法があります。

- MAK 個別ライセンス認証: インターネットまたは電話を使用し、各コンピューターから個別にマイクロソフトに接続してライセンス認証を完了します。
- MAK プロキシ ライセンス認証: この方法では[ボリューム ライセンス認証管理ツール \(VAMT\)](#)を使用します。オンラインまたは電話で、複数のコンピューターのライセンス認証の要求を一括して送信します。**注:** VAMT を利用することによって、IT プロフェッショナルは、MAK を使用してボリューム アクティベーション プロセスを自動化および一元管理できるようになります。

製品ライセンス認証についてよく寄せられるご質問

各 MAK には、ボリューム ライセンス契約に基づいた、ライセンス認証が行える回数があらかじめ設定されています。MAK のライセンス認証の制限回数を増やす方法については、[マイクロソフト ライセンス認証専用窓口](#)までお問い合わせください。

[ボリューム ライセンス認証を使用した製品のライセンス認証](#) (英語) の詳細もご確認ください。

MAK キーには、使用制限がありますか。

はい。MAK では、ライセンス認証を行える回数があらかじめ設定されています。この回数をご契約内容によって決まります。ライセンス認証の回数は、(お客様、またはマイクロソフトの申請によって) お客様のニーズに合うように変更できます。

MAK でライセンス認証を行える残りの回数は [VLSC](#) にアクセスするか、[ボリューム ライセンス 認証管理ツール \(VAMT\)](#) を使用して確認できます。MAK の認証上限数引き上げに関しては、[MAK / KMS 認証上限数変更申請フォーム](#)をご記入の上ご送信ください。

電話でのお問い合わせは、[マイクロソフト ライセンス認証専用窓口](#)までお願いいたします。

同一組織内のシステムをライセンス認証するのに、MAK と KMS の両方を使用できますか。

はい、できます。ボリューム ライセンスをご利用のお客様は、環境のニーズに応じて、KMS でホストされているライセンス認証サービスと MAK の両方、またはいずれかを使用して、コンピューターのライセンス認証を行っていただけます。

Office 2010/2013 に KMS を実行するのに専用サーバーは必要ですか。

いいえ。専用サーバーは必要ありません。KMS ホストは軽量のサービスであり、Office と Windows KMS ホストを共同ホスティングできます。ただし、Office KMS ホストとしてサポートされるのは、**Windows Server 2003**、**Windows 7** ボリューム ライセンス エディション、および **Windows Server 2008 R2** だけになります。

Office 2013 の KMS および MAK ライセンス認証プロセスは、基本的には Office 2010 のライセンス認証と同じですが、Office 2013 の KMS ホストは Windows Server 2003 ではサポートされません。Office 2013 の KMS ホストは、Windows Server 2008 R2、Windows 7 ボリューム ライセンス (VL) エディション、Windows 8 ボリューム ライセンス (VL) エディションおよび Windows Server 2012 でサポートされます。

x86 (32 ビット) 版と x64 (64 ビット) 版の Office 2010 および Office 2013 製品のキーは異なりますか。

Office 製品のプロダクト キーは、x86 (32 ビット) 版と x64 (64 ビット) 版のどちらでも動作します。

製品ライセンス認証についてよく寄せられるご質問

HVMS または ISVR のパートナーは、どこでキーを入手すればよいですか。

ISV Royalty ライセンス プログラムまたは High Volume Messaging Services Agreement (HVMS) をご利用のお客様は、VLSC でキーを入手することはできません。[マイクロソフト ライセンス認証専用窓口](#)までお電話のうえ、キーの発行を依頼してください。

ライセンス認証に KMS を使用して、Windows 7 および Office 2010 を展開したいと考えています。KMS ホスト コンピューターのセットアップに使用できる Windows Server のバージョンを教えてください。

ライセンス認証に KMS を使用して、Windows 7 と Office 2010 の両方またはいずれかを展開したいとお考えの場合、以下の点にご留意ください。

- Windows Server 2008 は、Windows 7 および Office 2010 をライセンス認証する場合の KMS ホストとしてはサポートされていません。
 - Windows 7 クライアント マシンのライセンス認証を行うための修正プログラムが配布されています。
 - Office 2010 クライアントのライセンス認証を行うための修正プログラムは**配布されていません**。
- Windows Server 2008 を KMS ホストとして使用する場合、以下の選択肢があります。
 - KMS ホスト コンピューターを Windows Server 2008 R2 にアップグレードする。
 - KMS ホスト コンピューターを Windows Server 2003 にダウングレードする。
 - KMS ホストを Windows 7 ボリューム エディションのコンピューター上で実行する。
 - Windows Server 2003 の仮想マシンを Windows Server 2008 コンピューター上で実行する。

所有している PC が 50 台未満の場合、ボリューム ライセンス認証管理ツール (VAMT) でマルチライセンス認証キー (MAK) を使用するのが最も良い方法です。

マイクロソフトでは、以前のすべてのプラットフォームとの互換性に対応できるように鋭意努力していますが、新しいテクノロジーを利用する場合、以前のどのバージョンのサポートを継続するかの判断が必要な場合があります。そのため、Windows Server 2008 は Office 2010 KMS ホストのプラットフォームの対象にはなっていません。

MAK や KMS を含むボリューム ライセンス キー (VLK) は、特定のライセンス契約に基づいて発行され、お客様の組織でそれらのキーを使用して、ライセンスを取得したソフトウェアや製品を使用することができます。

仮想コンピューターで使用すべきライセンスの認証方法を教えてください。

KMS と MAK のいずれも使用できますが、KMS の方をお勧めします。なぜなら、コンピューターが MAK を使用してライセンス認証されると、そのたびに認証できる回数とその分減少していくためです。これは、物理コンピューターと仮想コンピューターのどちらにも当てはまります。

注：

- Windows Vista SP2、Windows Server 2008 SP2、および Windows 7 と Windows Server 2008 R2 のリリース: 仮想コンピューターは KMS のライセンス認証のしきい値にカウントされます。ライセンス認証のしきい値の詳細については、[ボリューム アクティベーション計画ガイド](#) を参照してください。
- Windows Vista SP1、Windows Server 2008、Windows Server 2003 v1.1、および Windows 7 では、仮想コンピューターで KMS をホストできます。
- 各 KMS ホスト キーを使用して、6 台の KMS ホスト (物理または仮想) をセットアップできます。

KMS ホスト コンピューターが Windows Server 2008 KMS キーを使用してライセンス認証されました。Windows Server 2008 R2 を展開するホストとして同じコンピューターを使用できますか。

Windows Server 2003、Windows Server 2008、または Windows Vista にインストールされている既存の KMS ホストでは、Windows 7/Windows Server 2008 R2 システムのライセンス認証をサポートする更新プログラムが必要です。この更新プログラムは、Windows Server Update Services (WSUS)、Microsoft ダウンロード センター、および[ボリューム アクティベーションについての TechNet のページ](#) から入手できます。更新プログラムのインストール後、ホストに Windows Server 2008 R2 KMS キーをインストールして有効化できます。

Windows 7 Professional がプレインストールされた新しい PC を購入しましたが、以前のバージョンの Windows にダウングレードしようと考えています。どのキーを使用したらよいですか。

次のいずれかを使用できます。

- Windows 7 KMS キーを使用して有効化された KMS ホストは、Windows Vista クライアントおよび Windows 7 KMS クライアントをライセンス認証します。
- Windows Vista KMS キーを使用して有効化された KMS ホストは、Windows Vista KMS クライアントをライセンス認証します。
- A Windows Vista MAK.

Windows XP にダウングレードする場合は、Windows XP Professional キーのみを使用してください。

「親」会社の傘下にある「子」会社が個別契約している場合、親会社は同じキー (Windows Server 2008 Standard/Enterprise R2 KMS キーなど) を使用して、両方の会社に Windows 7 や Windows Server 2008 R2 を展開することはできますか。

その方法を選択することもできます。特定のライセンス ID (契約、登録、関連会社、またはライセンス) で発行されたキーはそのライセンス ID で指定されたライセンスに使用しなければならない、ということはありません。各契約/ライセンス専用のキーを使用することも、1つのキーセットをすべての支社に展開することもできます。このような柔軟性があるため、展開やイメージを一元的に管理できます。

製品ライセンス認証についてよく寄せられるご質問

コンピューターのライセンス認証を行わないとどうなりますか。

ライセンス認証は、わかりやすい認証方法を提供できるように設計されています。指定された猶予期間（通常は 30 日）以内にライセンス認証を行わないと、コンピューターが通知モードに切り替わります。通知モードの間は、ログイン時に、ライセンス認証の確認通知がユーザー宛に表示され、アクションセンターでも通知が表示されます。

自社で MAK キーを使用して、ほぼすべてのコンピューターのライセンス認証を行なう計画なのですが、MAK のライセンス認証数が、購入したライセンス数と一致していません。なぜ、異なるのですか。ライセンス認証の追加をしてほしいのですが、可能ですか。

MAK のライセンス認証の制限回数を増やす方法については、[マイクロソフト ライセンス認証専用窓口](#)までお問い合わせください。

マイクロソフトでは、購入ライセンス、購入価格レベル、ボリューム ライセンス プログラムなど、さまざまな要素を基に、各 MAK と関連付けるライセンス認証の数を決定しています。

Open License のお客様の場合、マイクロソフトでは、お客様が所有されるライセンス数を確認して、通常は必要数以上のライセンス認証数を提供することによって、ライセンスの再認証や仮想マシンのライセンス権といったシナリオで、ライセンス認証を確実に行えるようにしています。たとえば、1 ～ 25 ライセンスを購入した場合、MAK では 50 ライセンス認証を取得していただけます。

Select や Enterprise Agreement、Campus Agreement、スクール アグリーメント、SPLA では、価格レベル (A、B、C、D) を確認します。そして、お客様が価格レベルごとに購入されたライセンスの総数に基づいて、ライセンス認証数を価格レベルごとに付与します。また、KMS が主要なライセンス認証方法として使用されている点も考慮しています。

ボリューム ライセンス キーを使用して、再イメージング権を行使できますか。

はい、できます。再イメージングの権利は、マイクロソフト ボリューム ライセンスのすべてのお客様に提供されます。この権利に基づいて、お客様はボリューム ライセンス契約で提供されるメディアを使用して、OEM (Original Equipment Manufacturer) 製品またはパッケージ製品 (FPP) のライセンス取得済みのコピーを再イメージングすることができます。ただし、これは、ボリューム ライセンス メディアから作成したコピーが最初にライセンスを取得した製品と同一である場合に限ります。

ボリューム ライセンスのお客様は、必要なボリューム ライセンス キーをプロダクト キー ページで確認していただけます。また、[マイクロソフト ライセンス認証専用窓口](#)でキーをご依頼いただくこともできます。Open License のお客様は、再イメージングする製品ユニットを 1 つ以上購入し、製品メディアとキーを入手してください。

詳細は、[再イメージングに関するボリューム ライセンス簡易ガイド](#) (PDF、1.22 MB) をご参照ください。

製品ライセンス認証についてよく寄せられるご質問

KMS ではなく MAK を使用して、Windows 7 Professional を再イメージしたいのですが、MAK と関連付けられたライセンス認証が足りない場合はどうすればよいですか。

まず、Windows 7 MAK に関連付けられているライセンス認証の上限数を確認します (プロダクトキー ページ、または Windows 7 用の Windows 自動インストール キット (AIK) 付属の [ボリューム ライセンス認証管理ツール \(VAMT\)](#) を使用します)。それ以上のライセンス認証数が必要な場合は、[マイクロソフト ライセンス認証専用窓口](#) にお問い合わせください。

Small Business Server 2011 にはどのキーを使用すれば良いか教えてください。

Windows Small Business Server 2011 では、ボリューム ライセンスのお客様は、マルチ ライセンス認証キー (MAK) を VLSC を通じて入手していただけます。MAK キーは、マイクロソフトがホストする、オンラインまたは電話でご利用可能なアクティベーション サービスです。ボリューム ライセンスのお客様がキーを入手するには、VLSC のプロダクト キー セクションをご覧ください。 [マイクロソフト ライセンス認証窓口](#) へお電話ください。

- Windows Small Business Server 2011 Standard の場合、Win SBS Standard/Essentials 2011 MAK をご利用ください。
- Windows Small Business Server 2011 Essentials の場合、Win SBS Standard/Essentials 2011 MAK をご利用ください。
- Windows Small Business Server 2011 Premium Add-on の場合、Windows Server 2008 R2 MAK B をご利用ください。

Small Business Server 2011 は自動的にキー管理サービス (KMS) クライアントとしてインストールされます。別のライセンス認証方式であるボリューム ライセンス キー は Small Business Server 2011 ではご利用いただけませんのでご注意ください。 [MAK キーをご利用いただくには、MAK をインストールする事により、KMS クライアント マシンを MAK 認証クライアントに変更する必要があります。](#) (英語) MAK キーは、オペレーティング システムのインストール中もしくはインストール後、いつでもインストールが行えます。

[ボリューム アクティベーションと MAK キーに関する詳細は、こちらをご覧ください。](#)

Small Business Server 2011 Standard はファイル容量の関係上、VLSC からダウンロードする事ができません。物理メディア ファイルの入手に関する情報は、VLSC にて公開予定ですので、ご確認ください。

ダウングレード権について: Windows Small Business Server 2008 は物理メディアとそのメディアに付属するプロダクト キーのみ、ご利用可能です。Windows Small Business Server 2008 CAL の認証は必要ありません。Small Business Server 2003 へダウングレードされる場合、Small Business Server 2003 CAL の認証を行うために、対応する Small Business Server 2003 CAL キーが必要となります。

© 2018 Microsoft Corporation. All rights reserved. マイクロソフトはこのドキュメンを情報提供目的のみします。明示または黙示にかかわらず、この内容に関してマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。ソフトウェア アシユアランスの利用資格は、地域やプログラムによって異なり、また、予告なしに変更となる場合がございます。マイクロソフト ボリューム ライセンス プログラムにおけるお客様の権利と義務について完全に理解するには、ボリューム ライセンス契約の契約条件をご覧ください。(2018 年 6 月発行)